

週刊 タバコの正体

他人のタバコの煙を吸わされるのが受動喫煙です。喫煙者が手にした火の着いたタバコからでる副流煙や吐く息などを吸い込むことなのですが、煙はなくてもタバコの不快なニオイを感じることがありますよね。下のイラストのようにタバコを手にしていなくても、ついさっきまでタバコを吸っていた喫煙者が近くにくると、いやなニオイを感じます。

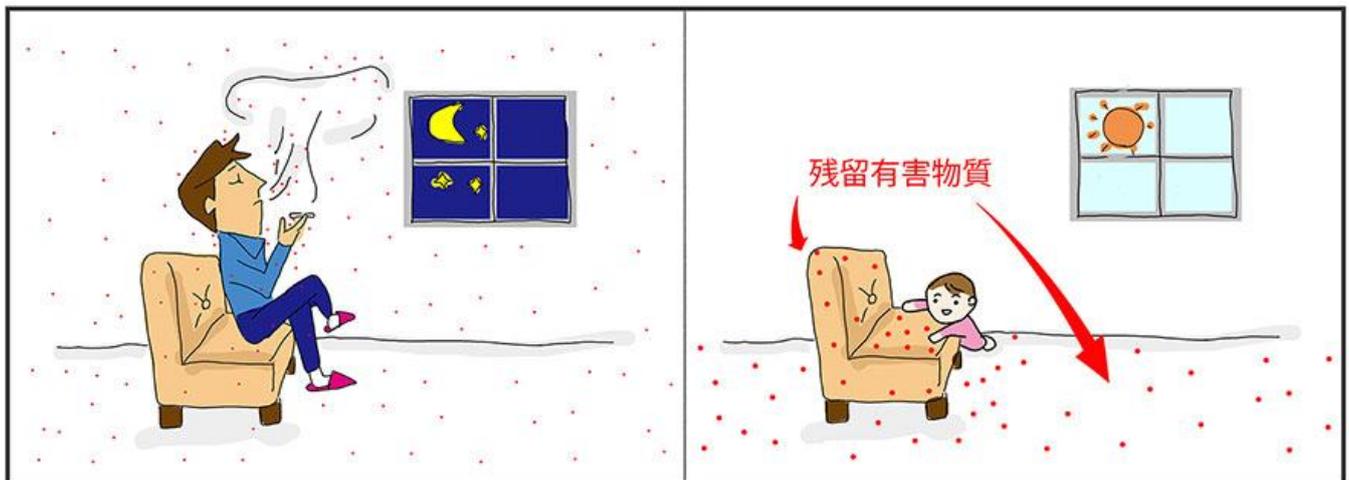


環境再生保全機構 HP「すこやかライフ」から

煙はなくてもニオイがあると言う事は、タバコの成分が漂っているわけです。目に見えないすごく微小な成分なのですが、このニオイを不快に感じる人は多いのではないのでしょうか。



奈良県 HP「県民だより奈良」から



渋谷スキンクリニック HP から

このいやなニオイを嗅がされることを「残留受動喫煙」と言います。ちなみに受動喫煙は英語で Second-hand-smoke (セカンドハンドスモーク)、残留受動喫煙は Third-hand-smoke (サードハンドスモーク)と呼ばれます。

誰もいない部屋で喫煙してもセカンドハンドスモークは発生しませんが、上のイラストのように染みついた有害成分によるサードハンドスモークが発生します。このように吸った後の事も配慮して喫煙をする必要がありますよね。タバコを吸うには、まわりの人のために様々な配慮が必要な事を知っておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久